

女性の「働き方」応援事業【北海道上士幌町】

個別事業費	4,713 千円
交付金額	2,356 千円

地域の実情と課題

1. 上士幌町の雇用に占める正規職員の割合は男女間で格差がある。
2. 子育て支援に力を入れた結果、若者の転入が増加した一方、流動性が高く、定着にむけた取組が課題。
3. 男女共同意識、働き方改革が遅れており、町内事業所における意識醸成が課題。

事業の特徴

小規模自治体においては、男女共同参画計画及び女性活躍推進計画の策定が少ない中、関係機関の意識を高め、まち全体に計画策定の必要性を共有する。

- ・町民意識調査、役場職員アンケート調査の実施
- ・女性活躍・働き方セミナーの開催
- ・働く女性のワークショップの開催
- ・上士幌町女性活躍推進協議会の設置

事業の効果

・町内の関係者が自分ごととして話し合い、「上士幌町女性活躍推進計画(仮称)」の骨子が作成でき、関係機関の理解が深まった。

○若い女性自身が望む働き方を把握できた。

○男性も含めた若い人の働き方の課題を把握できた。

目的・目標

1. 女性が将来に希望を持てる働き方を定着させるための取組を進める。
2. 移住してきた若者が、まちに住みやすく、働きやすいと感じる環境を作り、意識改革を進める。
3. 女性の役員昇格や男性の働き方改革等を推進できるよう、モデル構築を目指す。

○KPI セミナー参加者の満足度 目標:80%以上
実績:90.90%

セミナー参加者の理解度 目標:70%以上
実績:90.00%

連携団体

上士幌町、上士幌町商工会、上士幌町農業協同組合、帯広信用金庫、十勝信用組合、北海道十勝総合振興局、人権擁護委員、まちづくり会社、労働団体など

今後の課題

・当事者たちを中心として、町全体に女性活躍・男女共同参画の意識が広がる具体的な施策を検討する。

・農村部と市街地の女性交流を通じた女性活躍の場づくり、一人複数役等の新たな仕組みづくりの方策を検討する。

●町民意識調査

男女の平等感や役割分担、女性の働き方などに関する現状と課題を分析し、上士幌町における男女共同参画基本計画策定にあたっての基礎資料とするために町民意識調査を行った。

【調査概要】

調査目的	男女の平等感や役割分担、女性の働き方などに関する現状と課題を分析し、上士幌町における男女共同参画基本計画策定にあたっての基礎資料とするために町民意識調査を行った。
調査対象	令和6年10月1日を基準日として上士幌町に居住する18歳以上の1,000名を対象とした(無作為抽出)。各年代の抽出数は下記のとおり(抽出数/総数)。
・総計	1,000名/4,133名
・10代(18歳・19歳)	20名/77名
・20代	160名/457名
・30代	160名/558名
・40代	160名/580名
・50代	160名/531名
・60代	160名/594名
・70代～	180名/1,336名
調査方法	アンケート用紙を郵送し、回答は、用紙に記載して同封の返信用封筒で返送するか、またはQRコードを読み取って回答フォームに入力して回答するか、のいずれかの方法とした。
調査期間	令和6年12月1日(水)～令和6年12月20日(金)
回収状況	有効回収率25.9%

●役場職員アンケート

役場職員に対してアンケート調査を実施し、職場における満足度や男女の平等感、仕事と家庭の両立などに関する職員の意識などの現状と課題を分析することで、上士幌町における女性活躍推進計画(特定事業主行動計画)策定にあたっての基礎資料とした。

【調査概要】

調査目的	役場職員に対してアンケート調査を実施し、職場における満足度や男女の平等感、仕事と家庭の両立などに関する職員の意識などの現状と課題を分析し、上士幌町における女性活躍推進計画(特定事業主行動計画)策定にあたっての基礎資料とした。
調査対象	令和6年12月13日時点で調査対象は、調査実施時点で勤務している役場職員すべてとし、回答にあたっては匿名とした。
調査方法	職員に対して企画財政課より職員アンケート協力の連絡を行い、職員は既定のWEB上の回答フォームに入力し回答した。
調査期間	令和6年12月13日(金)～令和7年1月31日(金)
回収状況	回収数90件(令和6年4月1日現在の職員数134人＋フルタイム会計年度任用職員105名に対する割合37.7%)

事業の概要

●女性活躍・働き方セミナー

小規模自治体及び小規模事業所における女性活躍・働き方改革の在り方について考えるため「上士幌町 10年後の まちとしごと シンポジウム」を実施した。

名 称	上士幌町 10年後の まちとしごと シンポジウム
日 時	令和7年3月22日(土) 13:30~14:40
場 所	上士幌町生涯学習センターわか 会議室1・2AB
参加者	約30名
内 容	13:30~13:35 開会・町長挨拶・講師紹介 13:35~14:25 講演「労働供給制約社会ではじまる、最初のチャンス」 古屋 星斗氏(リクルートワークス研究所主任研究員) 14:25~14:40 上士幌町「女性活躍・はたらきかた改革に向けた住民アンケート調査結果等」の概要報告 五十嵐 智嘉子(一般社団法人北海道総合研究調査会理事長)

●働く女性のワークショップ

「女性活躍・働き方セミナー」に合わせて、上士幌町及び周辺自治体の働く女性のワークショップを開催し、対話から生じるそれぞれの本音から、女性の就業状況の改善、職場の働き方改革などに関する今後のあるべき方向を探った。

名 称	町民と語る「10年後のまちでいかにしたらるか」
日 時	令和7年3月22日(土) 14:50~16:00 ※「上士幌町 10年後の まちとしごと シンポジウム」に引き続き開催
場 所	上士幌町生涯学習センターわか 会議室1・2AB
参加者	11名



上士幌町
未来につなぐ 笑顔がやがて元気に上士幌

10年後の /
まちとしごと
シンポジウム

2025年
3月22日(土) 13:30~16:00
上士幌町生涯学習センターわか 会議室1・2AB

参加無料

「未来につなぐ 笑顔がやがて元気に上士幌」の実現に向けて、上士幌町は成長する地域づくりを進めます。一人ひとりの暮らしやしごとの希望がかなう町が、未来のまちづくりになります。人口減少社会におけるこれからの「まち」と「しごと」について、皆さんと一緒に考えるため、シンポジウムを実施します。町民の皆さんの御参加をお待ちします。

Program

13:30 開会・あいさつ・講師紹介
13:35 ~ 講演「労働供給制約社会ではじまる、最初のチャンス」

講師 古屋 星斗 さん | リクルートワークス研究所 主任研究員

2011年一橋大学大学院社会学研究科 総合社会科学専攻修了。同年、経済産業省に入職。産業人材政策、産業育成、地域の振興、産業政策の推進、産業政策の推進、産業政策の推進に携わる。2017年より現職。労働市場分析、未来予測、未来予測、キャリア形成研究を専門とする。著書に「労働供給制約社会ではじまる、最初のチャンス」(中央経済社2022)、「なぜ「働き方」を問うのか」(大和出版2024)、「2023年「未来予測」2040 労働供給制約社会がやってくる」(Work Report) のプロジェクトリーダーを務める。一般社団法人スグール・トラフィック代表理事。

14:25 ~ 上士幌町「女性活躍・はたらきかた改革に向けた住民アンケート調査結果等」の概要報告
休場 10分
14:50 ~ 町民と語る「10年後のまちでいかにしたらるか」(町)
16:00 閉会

SDGsポイント
30 POINT
女性活躍推進
ワンストップサービスを実現しよう

お問合せTEL **01564-2-4290**
上士幌町役場 企画財政課 企画 / 地域振興課 総務 (い・わ・く)